

いちかわの豊かな自然に 目を向けてみよう



本市は、都心へのアクセスに優れながらも、緑地や河川、海辺など豊かな自然が見られ、そこにはさまざまな生きものが暮らしています。私たち人間もこのような生物多様性*の中の一員です。

生物多様性を保全することは、私たち人間が健康で安全に暮らすことにも大きく関わっています。毎日食べる米や野菜、肉や魚から、木材や医薬など生物多様性の恵みを受けて生活しています。また、生きものが豊かに暮らす自然は、きれいな水や空気を生み出し、私たちの心に安らぎを与えてくれます。

身近にある自然に興味を持ち、一人ひとりができる取り組みについて考えてみませんか。

*生物多様性…「生きものたちの豊かな個性とつながり」のこと

☎712-6307自然環境課



身近に暮らす

生きもの

夏～秋にかけてみられる
生きものを紹介します。



▲生きもの
のカラー写真は
こちら

長田谷津に生息し、夏の夜に幻想的に光る様子を見ることができます。ゲンジボタルより弱い光です。7月に大町公園内の自然観察園でボタル観賞会があります。詳細は広報いちかわ7月4日号で案内予定です。

ヘイケボタル



休耕田などに群生します。長田谷津(大町公園)に群落があります。ピンクと白のグラデーションが美しい花です。

コアジサシ

夏鳥で水面に飛び込み小魚を捕って食べます。三番瀬や江戸川で観察されます。成鳥は頭が黒く、くちばしが黄色いのが特徴です。



ナゴヤサナエ

6～8月に主に江戸川の護岸で羽化するのが確認できます。成熟すると黒い体に、黄色い模様が見られるのが特徴です。

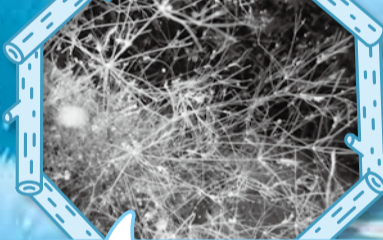


ミゾソバ

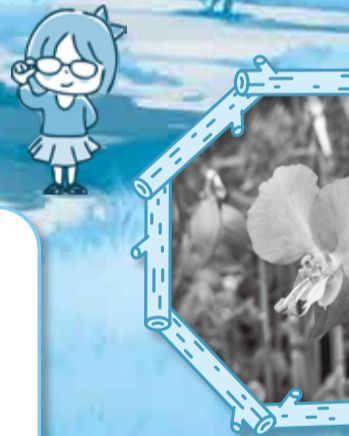


絶滅危惧種！類 イノカシラフラスコモ

じゅん菜池緑地を含む国内、計3カ所のみで自生が確認されている日本固有の水草の一種です。本市では隣接する池で育成環境を整え、成長を妨げるアオミドロを定期的に除去するなどの保全対策を行っています。



6月ごろから咲き、8月後半～9月中旬ごろに見頃を迎えます。大町公園で見られ、青い花弁が美しい花です。



ツククサ

トビハゼ

市内湾岸地域の泥干潟に生息し、泥の上で活動する面白い魚です。目が頭の背中側にあり、上方を警戒できます。



自然を守るために私たちができること

みなさんの発見が貴重な資料に

生物多様性モニタリング調査の一環として「いちかわ生きものマップ」にて市内の生きもの情報を募集しています。いただいた情報や写真をマップに掲載し、自然環境を把握するための貴重な資料として活用します。

投稿には「モニタリング調査員」への登録が必要です。調査対象の生きものなど詳しくは右記2次元コードで確認してください。



▲調査対象のウグイス



▲いただいた写真を缶バッジにしてプレゼント

絶滅危惧種の保全活動

絶滅危惧種の生育・生息環境を保全するための活動に、ボランティアでの参加をお願いしています。必要があれば、草刈りをしたり、湿地を掘ったりして、生育・生息環境を整えます。

場 大町自然観察園(長田谷津)

☎339-0477自然博物館

年間予定などはこちら▶



◀ホトケドジョウ



▲ホトケドジョウの生息状況を調査

スナヤツメの一種▶

